

消化器内科 研修登録医プログラム2

プログラム名：肝疾患の診断と治療に関する包括的理解

目 標：

- 1) 肝炎・肝硬変・肝癌に至る肝疾患の自然歴と病態連続性を理解する
- 2) 慢性肝疾患の病因（ウイルス、アルコール、代謝異常）に基づいた診断・治療戦略を学ぶ
- 3) 肝機能評価および線維化評価（非侵襲的評価を含む）を理解する
- 4) 肝腫瘍の画像診断および鑑別診断を理解する
- 5) 肝癌のステージングと治療選択（局所療法・全身療法）の考え方を習得する
- 6) 慢性肝疾患および肝癌患者の長期マネジメント（合併症・予後・サーベイランス）を理解する
- 7) 免疫チェックポイント阻害薬治療、および治療に伴う免疫関連有害事象、特に免疫関連肝障害（irLI）の病態、診断およびマネジメントを理解する

方 略：

- 1) 期間・研修開始時期：3ヶ月（12日間）・任意に設定できる
- 2) 指 導 医：小笠原 定久（講師・消化器内科）、井上 将法（助教・消化器内科）
- 3) 募集定員：同一時期に2名まで
- 4) 研修内容：
 - ① 各種慢性肝疾患（HBV/HCV、アルコール、MASLD）の診断・病態を学ぶ
 - ② 血液検査・画像・非侵襲的線維化評価（FIB-4、エラストグラフィ等）の解釈を習得する
 - ③ 抗ウイルス療法および代謝介入の最新知見を文献検索し報告する
 - ④ 肝硬変の病態（門脈圧亢進、肝予備能）を理解する
 - ⑤ 腹水、肝性脳症、静脈瘤などの合併症管理を学ぶ
 - ⑥ 肝硬変に対する最新の薬物療法および予後評価を理解する
 - ⑦ 肝腫瘍の画像診断（CT/MRI/造影US）の読影に参加する
 - ⑧ 良性腫瘍（血管腫、FNHなど）と悪性腫瘍の鑑別を理解する
 - ⑨ 肝癌の発癌リスク評価とサーベイランスの考え方を学ぶ
 - ⑩ 肝癌のステージングと治療アルゴリズムを理解する
 - ⑪ 局所療法（RFA, MWA）、血管内治療（TACE）、全身療法を見学する
 - ⑫ 治療戦略の意思決定（腫瘍因子・肝機能・患者背景）を学ぶ
 - ⑬ 症例検討会に参加し、臨床的思考過程を習得する
 - ⑭ 担当症例についてケースレポートを作成する
 - ⑮ 「背景肝から治療まで」を一貫して説明できるプレゼンテーションを行う

5) スケジュール

No	日時	研 修 項 目	指 導 医	場 所
1		オリエンテーション、施設見学、 スタッフ紹介など		カンファレンスルーム、検査 室、外来

2		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
3		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
4		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
5		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
6		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
7		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
8		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
9		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
10		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
11		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来
12		検査・治療、カンファレンス、講義		カンファレンスルーム、検査室、外来

評 価：

- 1) 指導医による研修レポートの評価
- 2) 実地試験（外来での慢性肝炎患者の診療を指導医が評価）
- 3) MCQ（プレ・ポストテスト形式）

修了認定：

評価基準を満たしたものにコース修了証書を授与する